

## ニュージーランドで提案されている 2025 年禁煙法における主要な措置

ニュージーランド政府はまもなく、3 つの主要な措置を概説する法律を導入する予定です。

- たばこ製品の小売店での入手可能性の大幅な減少。
- 煙のない世代。

この戦略的な対策の組み合わせにより、Smokefree 2025 の目標が達成される可能性が非常に高くなります。たばこ製品からニコチンを除去し、これらの製品を販売できる店舗数を制限することで、喫煙率が急速に低下します。SFG の提案は、喫煙率が二度と上昇しないようにするのに役立ちます。

ウェリントンのオタゴ大学の ASPIRE 2025 センターは、提案された法律に関する提出をサポートするためにこの文書を作成しました。提出プロセスは 8 月 24 日まで開いており、提出 Web サイトは次のとおりです。

[https://www.parliament.nz/en/pb/sc/make-a-submission/document/53SCHE\\_SCF\\_BILL\\_125245/smokefree\\_environments-and-regulated-products-smoked-tobacco](https://www.parliament.nz/en/pb/sc/make-a-submission/document/53SCHE_SCF_BILL_125245/smokefree_environments-and-regulated-products-smoked-tobacco)

提案者は、法案に関する一般的なコメントを求められます。提案された主要な措置の一部またはすべてを支持する提出を検討していただければ幸いです。

### たばこ製品のニコチンを最小限に抑える

#### 1. たばこ依存症をなくすと、禁煙率が急速に高まり、喫煙率が低下する

たばこ会社はたばこ製品を非常に中毒性の高いものに設計しているため、喫煙をやめるのは非常に困難です。たばこ製品を中毒性のないもの（超低ニコチン紙巻きたばこまたは VLNC と呼ばれます）にすると、禁煙がはるかに容易になります。研究によると、喫煙に満足できなくなると、喫煙者は喫煙への興味を失い、禁煙するか、他のニコチン製品に移行する。この措置は、たばこを試す若者が喫煙中毒になるリスクが最小限に抑えられることも意味します。

モデリング研究は、たばこを非依存性にするだけで、すべての人口グループの喫煙率が非常に急速に大幅に減少することを示唆しています。重要なことは、この措置により、特にマオリ族の健康の不平等が大幅に減少することです。

#### 2. 人々はより多くの喫煙によって補わない

調査によると、喫煙者がニコチン レベルの非常に低い紙巻きたばこを使用すると、どれだけタバコを吸っても満足する量のニコチン。上記のように、これらの試験に参加した人々のほとんどは、喫煙するタバコの本数を減らすか、喫煙への興味を失い、禁煙するか、他の選択肢に移行します。

#### 3. 行動計画は、一部の人がニコチンの使用をやめられない可能性があることを認識しています

行動計画の重点分野 2 と 3 では、喫煙者、特に優先集団の人々を支援することの重要性を認識しています。これらのセクションでは、「禁煙に向けた道筋を示したサポート」を提案し、「包括的なサポート」と「よりカスタマイズされたヘルプ」を提供します。

人々は、承認されたニコチン代替療法（パッチ、ガム、トローチ）など、他の供給源からニコチンにアクセスすることができます。ニコチンを含む電子タバコ製品は現在広く入手可能です。これらの製品は、一部の人がにとって重要な喫煙の側面（例えば、吸入や「手から口へ」の動作）を模倣しています。

#### 4. たばこの違法市場が深刻な問題になるという証拠は、たばこによってまき散らされた

##### 企業

たばこ製品の闇市場がどれほど大きいかわかりませんが、最近の推定では、たばこの消費量の5%から7%が違法なたばこであることが示唆されています。たばこ会社が提供する見積もりは、違法取引の規模と影響を誇張している可能性が高いことはわかっています。法案に含まれる措置を概説した行動計画は、政府がタバコの違法取引の監視を強化する意向であることを指摘した。アオテアロアでの違法取引の規模と影響を推定するプロジェクト（オークランド大学が主導）も進行中です。

Smokefree Action Plan は、タバコの違法取引に対する最も適切な対応は、厳格な監視と施行であることを認めています。NZの最近の予算発表により、国境管理のための資金が増加しました。ニュージーランドの地理的な孤立と国境のバイオセキュリティは、タバコの闇市場取引を最小限に抑えるのに役立つ重要な属性とプロセスを持っていることを意味します。

さらに、法案で概説されている措置は、たばこ製品の需要を削減します。喫煙率が低下するにつれて、たばこ市場は縮小します。喫煙者が減れば、闇市場でのたばこ取引の魅力が低下します。違法取引の脅威を小売店の数を減らすための障害と見なすのではなく、喫煙率を最小限のレベルまで下げる必要があります。

#### たばこの入手可能性を減らす

##### 5. 販売店を減らすことで、人々は禁煙し、若者の喫煙率を下げることができます

たばこ会社は広範な流通ネットワークを構築しており、現在、6,000 から 8,000 のニュージーランドの酪農場、スーパーマーケット、ガソリンスタンド、コンビニエンスストアがたばこ製品を販売しています。その結果、たばこやたばこは、人々が住んで働いているほとんどの場所で簡単に入手できます。たばこを身近なものにすることで、たばこ会社は自社製品を普通の消費財のように見せてきました。

たばこを販売できる店舗の数を制限することで、喫煙を開始する若者の数を減らし、禁煙の試みを成功させ、禁煙の試みがもたらすリスクを減らすことができます。

喫煙に戻ります。たばこを販売する店舗を減らすことは、喫煙率の格差を減らすのにも役立つ可能性があります。

##### 6. たばこをなくすことで、小規模な小売業者が直面するリスクが軽減され、より収益性の高い在庫を確保できるようになります

###### アイテム

- たばこを販売する店舗の数を減らすと、強盗の機会が減ります。店舗ライセンス  
たばこを販売するには、適切なセキュリティ対策を講じる必要がある場合があります。
- 小売業者がたばこから新製品に移行するのを支援することで、たばこ製品に使用されていたスペースをより収益性の高い製品に再配分できるようになります。たばこ製品の利益率は他の製品に比べて低いため（アクションプランの提案を提出したある小売業者によると約9%）、たばこは店舗の利益に大きく貢献していません。たばこを他の商品に置き換えることで、店舗の収益性が向上する可能性があります。
- NZの調査によると、たばこ製品はほとんどの小規模小売業者の全体的な売上に占める割合が小さく（平均で約14%）、ほとんどのたばこの販売は単品取引であることがわかりました。  
これらの研究は、たばこ製品の販売が店舗の客足を増やし、利益率の高い製品の販売につながるという主張を支持していません。これらの調査結果は、英国と米国の研究によって裏付けられています。
- たばこは、小売業者が販売するには高価な製品です。小売業者が署名する契約では、在庫レベルを維持する必要がありますが、これには費用がかかる可能性があります。多くの人は、たばこ強盗のために、追加のセキュリティを導入し、より高い保険料を支払わなければなりません。

- 喫煙率は低下しており、タバコの消費量は近年著しく減少しています。これらの傾向はほぼ確実に続くでしょう。小売業者は、売上の減少に適応する必要があります  
とりあえず。

#### スモークフリージェネレーション

##### 7.禁煙世代は、将来の喫煙率を低下させ、低い喫煙率を維持する

SFG 措置は、将来の世代の喫煙率を最小限に抑え、たばこが通常の消費者製品ではなく、若者に害を及ぼす非常に有毒な物質であることを示します。

モデリング研究は、SFG の導入が喫煙率の格差と、これらが引き起こす健康の不公平を減らすのに役立つことを示しています。これらの不公平は（VLNC や小売り削減などの政策を通じて）すぐに対処する必要がありますが、SFG はこれらの不公平が将来発生しないようにするのに役立ちます。

##### 8.ほとんどの若者は若いうちに喫煙を開始し、十分な情報に基づいた選択をすることができません

たばこ会社は、人々が情報に基づいた喫煙の選択をするよう説得するために、何百万ドルも費やしてきました。しかし、青少年は十分な情報に基づいた選択を行うことができません。喫煙を始める若者も喫煙しない彼らはアルコールを消費しているときに喫煙を開始することが多いため、情報に基づいた選択を行います（そしてそうではありません  
明晰に考えるとき）、または仲間からの圧力を受けているとき。リスクやリスクを理解している若者はほとんどいません。彼らが中毒になり、喫煙を止めることができなくなるまで、中毒の可能性。

##### 9.禁煙世代のポリシーは保護的であり、制限的ではありません

禁煙世代対策は、何千人もの若者が喫煙に依存するのを防ぐでしょう。

喫煙。それは、たばこ会社が収益性を維持し、喫煙率が再び上昇しないようにするために必要な「代替喫煙者」のパイプラインを閉鎖します。

一度中毒になると、ランガタヒは自由を失い、多くの人は決してやめることができません。私たちの研究の参加者「政府が選択するか、あなたがたばこ中毒か、あなたには選択の余地がありません。どちらにしても。"依存症の重荷に苦しんでいたこの参加者は、現在および将来の世代の若者を保護するための禁煙世代政策  
中毒、予防可能な病気、早死にから。

禁煙世代の提案は、若者が運転やアルコールの購入など、一部の活動を安全に行うことができないことを認識しています。たばこの購入にはすでに年齢制限があります。禁煙世代の提案では、たばこは本質的に有毒な製品であるため、安全に使用できる年齢など存在しないことを認識しています。私たちは、対策への理解を深め、最も適切な実施プロセスを模索するために若者と関わることを強く支持します。

#### その他の問題

##### 10. Smokefree 2025 の目標を達成することで、人々は依存症の重荷から解放されます

依存症ほど人々の自由を侵害するものではありません。ニュージーランド人の80%以上が喫煙者  
喫煙を始めたことを後悔しています。ほとんどの人が禁煙を切望しており、半数以上が昨年禁煙を試みました。喫煙者を対象とした調査によると、いつ喫煙できるようになるかを計画しなければならないため、喫煙者は自分の時間をコントロールできなくなります。喫煙は子供たちから時間を奪い、人々が喫煙のために社交場を離れなければならないことを意味します。法案で概説されている措置は、人々に長い間与えられていなかった自由を取り戻すでしょう。彼らは自分の生活、財政、日々の活動をよりコントロールできるようになります。Smokefree 2025 の目標を達成すると、自由が戻ってきて維持されます。

11. 法案で概説されている対策は、すべての人口グループに利益をもたらす、長年にわたる健康を低下させます

不公平SF

2025 の目標は、現在および将来、すべての人口グループに利益をもたらすことを目的としています。現在喫煙している人々の禁煙を支援し、若者や将来の世代が喫煙を開始して依存症になるのを防ぐ対策が必要です。思春期初期の喫煙率は全体的に低いですが、顕著な格差があります。アクションプランの措置は、これらを大幅に削減するのに役立ちます。たとえば、14～15歳の青少年の1日あたりの喫煙率は5%未満ですが、14～15歳のマオリの学生の喫煙率は11.8%です。若年層の喫煙を防止することは依然として最優先事項です。2

また、SF 2025 の目標は、喫煙率を5%以下に減らし、可能な限りゼロに近づけることを目指していることを覚えておくことも重要です。上限は5%であり、有病率を引き続き低下させ、すべての人口グループでこれを低く抑えるための対策が必要です。

12. 法案で概説されている措置への支持は、さまざまな研究から得られています

アクションプラン対策の効果を予測するための研究支援を行っています。このエビデンスは、介入研究（例えば、喫煙者に低ニコチン紙巻たばこやたばこを与えた試験）、モデリング研究、認知された影響と公的支援の研究（喫煙者からの支援の評価を含む）、および詳細な研究から得られたものです。さまざまな政策によって影響を受ける可能性のある人々と。このエビデンスをまとめると、一貫したパターンが見られます。かなりの推定影響、強力な世論の支持、喫煙者の禁煙の予測です。

私たちは、これらの政策がまだ国レベルで実施されていないことを認識しています。すべての新しい対策と同様に、誰かが最初に新しい公衆衛生介入を実施する必要があります。オーストラリアが最初に無地のパッケージングを実施したように（現在多くの国で採用されているポリシー）、アオテアロア ニュージーランドが法案のポリシーの実施を主導します。実装前に影響の決定的な証拠を要求することは、論理的に不可能です。

オタゴ大学 ASPIRE 2025 センターのリチャード・エドワーズからのアドバイスを受けて、ジャネット・フックが作成しました。  
ウェリントン

連絡先: \_\_\_\_\_

<sup>1</sup> ASH NZ が実施したスナップショット Y10 調査。ここから入手可能:

[https://assets.nationbuilder.com/ashnz/pages/326/attachments/original/1650606612/2021\\_ASH\\_Y10\\_Snapshot\\_Regular\\_skining\\_and\\_vaping\\_FINAL.pdf?1650606612](https://assets.nationbuilder.com/ashnz/pages/326/attachments/original/1650606612/2021_ASH_Y10_Snapshot_Regular_skining_and_vaping_FINAL.pdf?1650606612)

<sup>2</sup> Edwards R, Ball J, Hoek J, Wilson N, Waa A. 2020/21 NZ 健康調査における喫煙と電子タバコの使用率と傾向に関する主な調査結果。公衆衛生の専門家のブログ: <https://blogs.otago.ac.nz/pubhealthexpert/key-findings-on-smoking-and-e-cigarette-use-prevalence-and-trends-in-the-2020-21-nz-健康調査/>

法案を支持する議論を提供するブログは、ここで入手できます。

#### 脱ニコチン化

たばこからニコチンを取り除く: 現在の禁煙法案の重要な要素です。 <https://blogs.otago.ac.nz/pubhealthexpert/removing-the-nicotine-from-tobacco-the-key-component-of-the-current-smokefree-bill/>で入手可能

---

煙の出ないアオテアロア - 喫煙したタバコ製品からニコチンを取り除くことで、そこにたどり着くことができるでしょうか?

煙の出ないアオテアロア - 喫煙したタバコ製品からニコチンを取り除くことで、そこにたどり着くことができるでしょうか? <https://blogs.otago.ac.nz/pubhealthexpert/a-smokefree-aotearoa-could-taking-the-nicotine-out-of-tobacco-products/>で入手可能

---

煉製たばこ製品のニコチンの削減: スモークフリーアオテアロア 2025 を達成するための提案の重要な特徴 <https://blogs.otago.ac.nz/pubhealthexpert/reducing-nicotine-in-manufactured-tobacco-products-a-key-feature-of-the-smokefree-aotearoa-2025-proposal/>で入手可能

---

#### 小売削減

たばこの小売店の入手可能性を減らす: これはどのように達成でき、NZ 政府の提案を裏付ける証拠は何ですか? <https://blogs.otago.ac.nz/pubhealthexpert/reducing-tobacco-retail-availability-how-could-this-be-achieved-and-what-evidence-supports-the-nz-governments-proposals/>で入手可能

---

たばこ小売りの利用可能性を減らす: 業界の主張に対する反論 <https://blogs.otago.ac.nz/pubhealthexpert/reducing-tobacco-retail-availability-a-counter-argument-to-industry-claims/>で入手可能

---

#### 無煙世代

The Smokefree Generation: ニュージーランドのエンドゲーム戦略の中心的な手段。入手先: <https://blogs.otago.ac.nz/pubhealthexpert/the-smokefree-generation-a-core-measure-in-new-zealands-endgame-strategy/>

---

段階的な喫煙: たばこフリー世代 ポリシー 利用可能 で:

---

#### 健康の不平等

スモークフリー アオテアロア行動計画: なぜこれがマオリの喫煙格差をなくすことができるのか? <https://blogs.otago.ac.nz/pubhealthexpert/a-smokefree-aotearoa-action-plan-why-this-could-eliminate-smoking-disparities-for-maori/>で入手可能

---

#### 違法取引

違法たばこ取引とスモークフリー アオテアロア 2025 の目標: 議論と証拠-証拠 <https://blogs.otago.ac.nz/pubhealthexpert/illegal-tobacco-trade-and-smokefree-aotearoa-2025-goals-discussion-and-evidence/>で入手可能

---